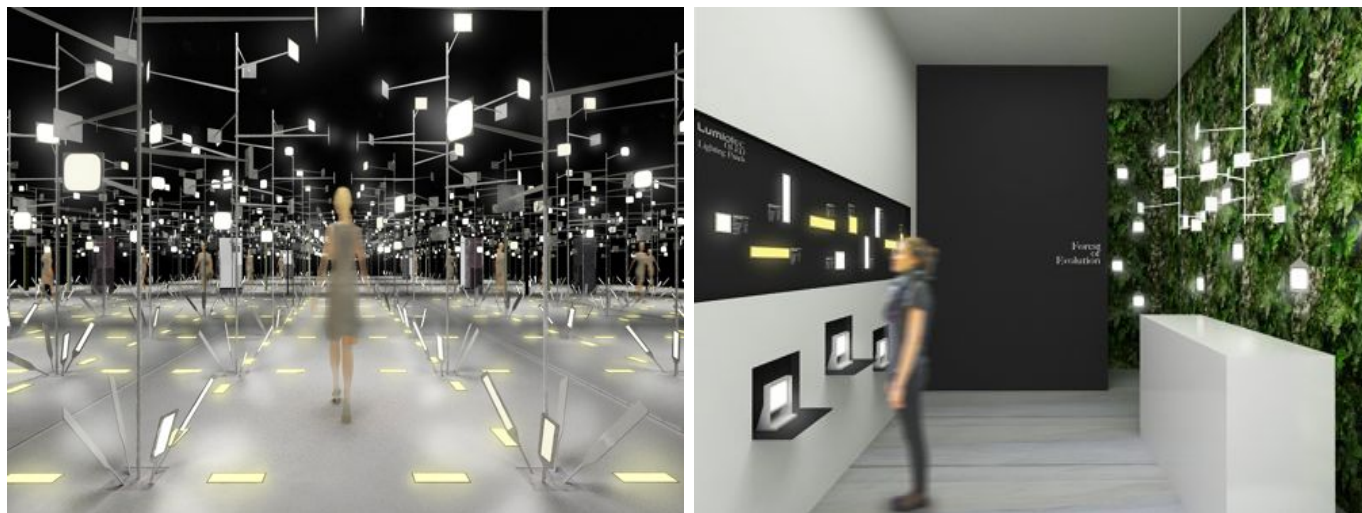


イタリア企業2社と提携し、ミラノ・サローネへ出展 デザインのメッカ、ミラノから情報発信



照明用有機EL（エレクトロ・ルミネッセンス）パネル専門のLumiotec株式会社（社長・重永久夫、本社：山形県米沢市）は、有機ELパネル市場の早期の立ち上がり期待される欧州への取り組みを強化する。具体的には、イタリアのデザイン会社、トライアンフ・デザイン・アンド・コンサルティング社（Triumph Design and Consulting Co., Ltd.）とデザイン支援で提携するほか、同国の老舗照明会社、ポリチェ・イルミナツィオーネ社（Pollice Illuminazione s.r.l.）から照明設計のコンサルティングを受ける。さらに、この両社との提携に基づくプロモーションの一環として、4月12～17日にイタリア・ミラノで開催される世界最大規模の国際家具見本市であるミラノ・サローネ（Salone Internazionale del Mobile）に、世界で初めて量産出荷に踏み切った照明用有機ELパネル使用の斬新なデザイン空間を展示する。

この一連の取り組みは、デザインのメッカであるイタリアから情報発信することで、デザイン系プロモーションを加速、さらにその輪を世界に広げて、照明用有機ELパネルの拡販に繋げるのが狙い。Lumiotecはこれらと併せて、イタリア照明協会（Associazione Italiana Di Illuminazione）にも加盟する方針で、現在、手続きを進めている。

トライアンフ社はミラノを拠点とするデザイン・コンサルティング会社。デザインで世界的に著名なマリオ・ベリーニ事務所取締役を務めた三井直彦氏が2005年に設立した。ポリチェ・イルミナツィオーネ社は1909年創立の照明設計コンサルティング大手。ミラノのドゥオーモ広場やサンシーロ競技場など多数の照明計画を手掛ける。

ミラノ・サローネは今年で50周年を迎える国際的な家具・インテリアの展示会。最先端のデザインやインテリアの発信の場として有名で、国際家具見本市、国際照明見本市、国際インテリア小物見本市、国際オフィス家具見本市などが同時開催される。

Lumiotecは照明用有機ELパネルの事業性検証会社。三菱重工業、ローム、凸版印刷などが出資して2008年5月に発足した世界初の照明用有機ELパネルの専門会社で、これまでトレードオフの関係にあるとされてきた、高輝度化と長寿命化を両立させる素子構造の開発や、材料の利用効率を格段に高めた高速の大型リニア蒸発源式インライン成膜装置の実現などを受けて、米沢市に量産ラインを構築、本年1月から照明用有機ELパネルの量産出荷を行っている。

有機ELパネルは、面発光で極薄・軽量であることや、紫外線を含まず均一でムラのない柔らかい光を実現できること、さらには、水銀など有害物を含まず、省エネ化によるCO₂の削減効果が見込めるなど、白熱球、蛍光管などの従来型光源やLEDにはない優れた特長を持ち、次世代の照明用光源として期待されている。

Lumiotecは、今回のイタリア企業との提携やミラノ・サローネへの出展を通じ、照明用有機ELパネルの事業性を検証しつつ、早期の本格的な量産・販売体制への移行に繋げていく。

【問合せ先】

Lumiotec株式会社東京事務所

TEL : 03-5418-6035 / E-mail : lumiotec_info@lumiotec.com

以上